

吉川郷土講演会

モンゴルをかんじてみよう

絵本作家のイチンノロブ・ガンバートル／バーサンスレン・ボロルマ－夫妻、モンゴル語翻訳者の津田紀子氏による、絵本作成についてのトークやモンゴル語での絵本の読み聞かせ、モンゴルすごろくなどモンゴルの文化を体験できるスペシャル講演会です。モンゴルのお茶とチーズの試食も行います！

3月15日(日) 午後2時～3時30分

会場：市民交流センターおあしす ミーティングルーム4

定員：30名 対象：どなたでも（小学3年生以下は保護者同伴）



モンゴルすごろくで遊ぼう

モンゴルの遊牧民の子どもたちが遊んでいる伝統的なすごろく遊びをご紹介。すごろくのコマは馬のかたち、サイコロはなんと本物のひつじのくるぶしの骨「シャガイ」！

当日の午前10時～午後5時まで物品販売も行います！

絵本、缶バッジ、オリジナルポストカードなど多数販売予定です。物品販売はどなたでも入場できますので、ご来場お待ちしております。

※原画販売は行っておりませんのでご了承ください。

2月16日(月)より予約受付開始！

親子での参加、大人のみの参加もOK！

問合せ：吉川市立図書館 TEL:048-984-1889



吉川市で生まれた

Ёшикавад төрсөн Монголын зурагт номнууд



モンゴルの絵本

表紙作品名：川と緑に囲まれて

絵本作家・翻訳者プロフィール



左からイチンノロブ・ガンバートル氏
バーサンスレン・ボロルマー氏
津田 紀子氏



モンゴルの草原にて。ラクダとともに

イチンノロブ・ガンバートル / バーサンスレン・ボロルマー夫妻

日本を拠点に活躍するモンゴル人絵本作家夫妻。2008年に来日し、現在までに30冊あまりの絵本や紙芝居を共同で創作、海外でも多数翻訳されている。おもにガンバートルが絵本の文章を、ボロルマーが絵を担当。二人がつむぐ物語は、モンゴルの大草原を舞台に遊牧民の暮らしや文化、勇気や知恵、家族への愛情や馬との深い絆を生き生きと描き出している。2013年より約7年間吉川市で暮らし、『トヤのひっこし』『モンゴル大草原800年』(ともに福音館書店)、紙芝居『おばあさんとマンガス』(童心社)など創作。野間国際絵本原画コンクールグランプリ、ボローニャ国際絵本原画展入選(ボロルマー)。『トヤのひっこし』は厚生労働省社会保障審議会の特別推薦児童福祉文化財、『イヌワシつかいのエルジャン』は、2024年度全国学校図書館協議会の「えほん50」、日本絵本賞最終候補絵本に選出。

津田 紀子 氏

モンゴル語翻訳者。子供の頃『スーウの白い馬』を読んでからモンゴルに憧れるようになり、大学卒業後、モンゴルでモンゴル語と児童文学を学ぶ。ウランバートル大学大学院修士課程修了。モンゴルの児童文学と絵本の研究、翻訳と紹介につとめ、日本で出版されているモンゴルの児童文学や絵本作品の翻訳を多数手掛ける。縁あって25年前より吉川市在住。絵本学会会員。日本児童文学者協会会員。

展示している原画作品の絵本紹介

『おいしいめだmayaki』

イチンノロブ・ガンバートル／文
バーサンスレン・ボロルマー／絵
津田 紀子／訳 福音館書店



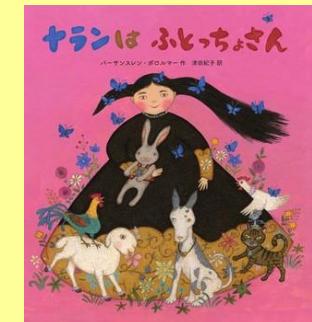
めだmayakiを食べたい姉妹が、にわとり小屋に卵をとりにいきます。でも、小屋に卵はありません。「こけっこ こけっこ さがしてごらん」とにわとりが歌いだし、姉妹はお庭のどこかにある卵を探します。見つけたと思ったら、白いボールだったり、毛糸玉だったり……。姉妹がおいしいめだmayakiを食べるまでを描いた、絵探しが楽しい絵本です。

(福音館書店公式サイトより抜粋)

『ナランはふとっちょさん』

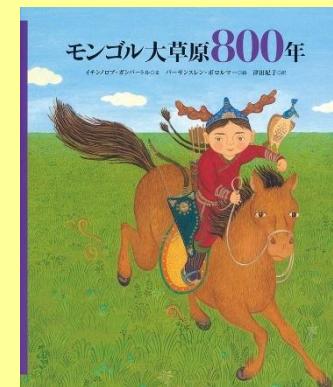
バーサンスレン・ボロルマー／作
津田 紀子／訳 工学図書

町むこうの山に動物たちと住んでいる女の子、ナラン。かれらの朝ごはんはたくさんのおいしいパンケーキ! ところがある時、町に出かけたら「ふとっちょがきたわよ」と笑われて…。ボローニャ国際絵本原画展入賞作品を絵本化。



『モンゴル大草原800年』

イチンノロブ・ガンバートル／文
バーサンスレン・ボロルマー／絵
津田 紀子／訳 福音館書店



モンゴル帝国ができてから800年。モンゴルの人々は、馬に乗って世界をかけまわり、他国を支配し、また支配され、社会主义の時代もへて、民主化されたモンゴルに暮らしている。波乱に満ちたモンゴルの歴史を凝縮した絵本。

内容紹介は TRC MARC より一部引用